



KAISO BANKがつくる海の森

Project to Expand Blue Carbon Ecosystems Through Seaweed Banks Utilizing Fishing Ports

カーボンニュートラル / ブルーカーボン / 生物多様性保全

Carbon Neutrality / Blue Carbon / Biodiversity Conservation

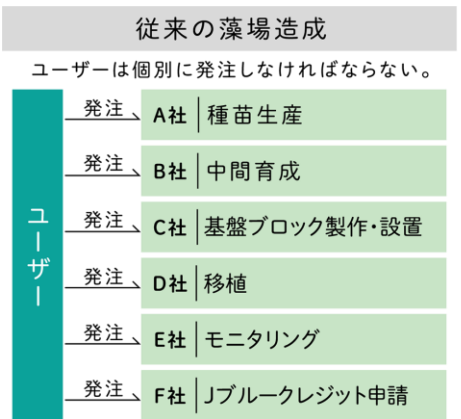
研究開発の概要

ブルーカーボンを推進するため、漁港を利活用して大量かつ安定的に海藻を育成し、海藻移植用カートリッジと海藻育成用基盤ブロックを用いて周辺海域へ効率的に移植することにより、広域な藻場の保全と回復を実現する海藻供給システムを構築します。

社会実装のイメージ



気候変動などのリスクに対して柔軟に適応した相互補完可能な全国の種苗供給ネットワークを活用して、種苗の生産からJブルークレジット®の申請までワンストップサービスの開発・構築・普及を目指し、カーボンニュートラルの実現とネイチャーポジティブを推進します。



三省水工株式会社、日建工学株式会社、三洋テクノマリン株式会社、株式会社アルファ水工コンサルタンツ



KAISO BANKがつくる海の森

Project to Expand Blue Carbon Ecosystems Through Seaweed Banks Utilizing Fishing Ports

カーボンニュートラル / ブルーカーボン / 生物多様性保全

Carbon Neutrality / Blue Carbon / Biodiversity Conservation

背景・課題及び解決のアプローチ

2022年12月に採択された KAISO BANKは、全国 5 漁港で実証実験中ブルーカーボン生態系創出・拡大プロジェクトの「つくる」「育てる」「増やす」「測る」という当初設定した基礎技術開発項目をすべて達成しました。課題を検証・解決し、藻場の保全・回復と KAISO BANK システムの社会実装に向けて、改良と普及に努めてまいります。

課題

- 01 海藻カートリッジの高度化
軽量で環境負荷の少ない新素材を用いた海藻カートリッジの開発を進め、量産化によるさらなるコスト削減を目指します。
- 02 核藻場機能を発揮する基盤ブロックへの進化
食害に強く、メンテナンスが容易な構造を追加し、効果的かつ持続的な藻場拡大の起点となる基盤ブロックの開発を推進します。
- 03 海藻種苗の高品質化と人材育成
中間育成手法の進化により、高品質な海藻種苗の量産化と低コスト化を図るとともに、地元人材の育成を通じて種苗生産の平準化と安定化を目指します。
- 04 計測の精緻化と藻場造成適地選定手法の確立
自動判別技術を活用し、海藻種やバイオマス量の計測精度を高めるとともに、藻場造成に適した環境を選定するためのマニュアルを開発します。

今後の展望

実証フィールド5地区周辺では、さまざまな海域（天然岩礁、人工構造物、沖合）への大規模な移植を実施予定ですが、近年は海水温の上昇による磯焼けの拡大が深刻化しています。そこで南方系ホンダワラ類など高水温耐性種の生産や、漁業者・自治体と連携した植食性動物（魚類・ウニ類）の駆除など、効率かつ効果的な移植を行います。

希望するマッチング先

- ・ 海業やSDGs・ESG投資の評価および拡大を目指す民間企業や団体
- ・ ブルーカーボンクレジットの購入に興味のある民間企業や団体

三省水工株式会社、日建工学株式会社、三洋テクノマリン株式会社、株式会社アルファ水工コンサルタンツ